

■Outline

The Kyu-Seiryuji Kuri in Kominka-en is an important cultural property designated by Kanagawa Prefecture. The Kuri, the residence for priests, was built in the early 18th century (the middle of the Edo era) and was relocated here from Seiryuji temple in 1998.

There are few Kuri of that period left in Kanagawa Prefecture because of the difficulty of preserving their thatched roofs. It is said that this Kuri is important in studying the architecture of that period.

■Location

Sagamigawa Village of Nature Park, 3853-8 Oshima, Midori, Sagamihara

■Transportation

Get on a bus bound for Kami-Oshima or Sagamihara Village of Nature Park from Hashimoto St.

Get off at Kami-Oshima or Sagamihara Village of Nature Park (the last stop). From here it is a 15 or 5 minutes walk.

■Hours of Operation

9:30 a.m. ~ 4:30 p.m. (July and August till 5:30 p.m.)

■Closed

From December 28 to January 3

■Admission Fee

Free

■Notice

- 1 Do not smoke or make fires.
- 2 Commercial, political and religious activities are prohibited.
- 3 Pets are prohibited.
- 4 Radios and musical instruments are prohibited
- 5 Taking commercial photographs is prohibited.

■Kominka-en

Sagamigawa Village of Nature Park, 3853-8 Oshima, Midori, Sagamihara

Tel 042-760-1130

■Published by

Cultural Properties Preservation Division
Lifelong Learning Department
Sagamihara City Board of Education
2-11-15 Chuo, Chuo, Sagamihara
Tel 042-769-8371

利用案内

■開園時間 午前9時30分から午後4時30分まで
(ただし、7、8月は午後5時30分まで)

■休園日 12月28日から1月3日まで
※ その他、臨時に休園する場合があります。

■入園料 無料

■利用上のお願い

- 火災防止のため、入園者は火気を使用したり喫煙をしないで下さい。
- 営利活動、政治活動、宗教活動をしないで下さい。
- ペットを連れての入園はご遠慮下さい。
- ごみなどはお持ち帰り下さい。
- 許可なく携帯ラジオ、楽器などの音は出さないで下さい。
- その他、管理上守っていただきたいことがあります。ご協力下さい。

■交通

- JR横浜線・JR相模線・京王相模原線「橋本駅」下車
- 橋本33系統 橋本駅南口～(西橋本経由)～上大島行
上大島(終点)下車 徒歩15分
 - 橋本36系統 橋本駅南口～(六地藏経由)～上大島行
上大島(終点)下車 徒歩15分
 - 相模原市コミュニティバス「せせらぎ号」
JR橋本駅南口～相模川自然の村(終点)下車 徒歩5分

■案内図



■相模原市古民家園

相模原市緑区大島3853-8 相模川自然の村公園内
Tel 042-760-1130

■発行 相模原市教育委員会 文化財保護課
〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15
Tel 042-769-8371



相模原市古民家園

Historical Residence

KOMINKA-EN



神奈川県指定重要文化財 旧青柳寺庫裡

概要

古民家園は、平成10年4月、相模原市大島の相模川自然の村公園内に開園しました。

園内に移築・復原された「旧青柳寺庫裡」は、江戸時代中期に建てられたと推定される建物で、神奈川県下の近世上層大形民家の間取りや構造を基本としながら、土間の妻側にも入口を設けた「妻入り」の形式となっていることなど庫裡独自の要素を保っています。

県下では、茅葺き屋根の維持が困難なことや生活の変化のため、近世の庫裡はあまり残っていません。旧青柳寺庫裡は年代が古いにもかかわらず保存状態が良く、近世における庫裡と民家との建築的関連を考えるうえで貴重な建物です。

(※庫裡とは、もとの寺の台所をいい、転じて、住職や家族の居間のこと。)

- 旧所在地 相模原市上鶴間2958番地 青柳寺内
- 建築年代 18世紀初期(江戸時代中期)
- 規模 桁行十間半、梁間5間、木造1階
- 屋根構造 茅葺寄棟造(土間の妻側のみ入母屋造)

復原工事の様子



■柱を立てる・梁を組む

礎石を据え付けた後、できる限り建築当初の部材を使いながら建物の組み立てにかかる。

大工の仕事が中心となる。



■屋根を葺く

屋根の骨組みができると仕事は大工の手を離れ、屋根職により屋根葺きが行われる。竹と縄で下地を作り、茅を葺きあげ、最後にきれいに刈り込んで屋根は完成する。



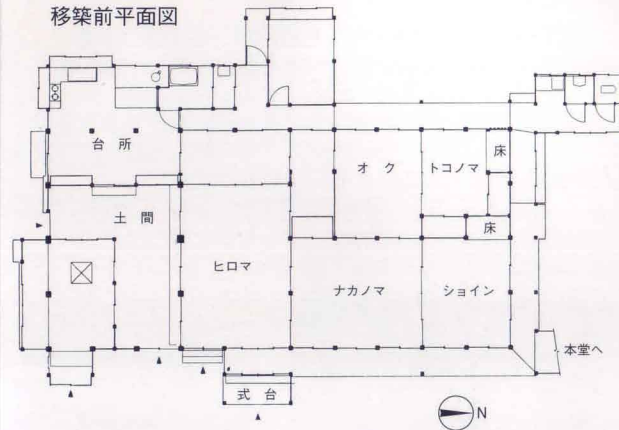
■壁を塗る

壁塗りは、左官職の仕事である。割竹などで下地を作り、荒壁塗り、中塗り、さらに場合によっては上塗りを行って完成する。

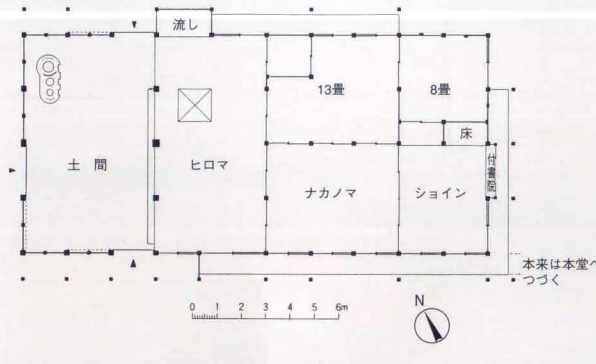
この後、再び大工の手により室内の仕上げが行われる。



移築前平面図



復原平面図



▲復原工事では、後世に改造された玄関、台所、浴室、土間に造られた部屋などを撤去し、障子を板戸にするなどの変更をして建築当初の姿に戻しました。



▲土間とヒロマには天井がなく、曲がりくねった梁を縦横にかけ渡した梁組みを見ることができます。